



人権教育を学校教育の根幹に!

白水台地の陽光「さん」

人権感覚を身につけさせるためには、学級をはじめ学校生活全体の中で自らの大切さや他の人の大切さが認められていることを児童生徒自身が実感できるような状況を生み出すことが肝要である。個々の児童生徒が、自らについて一人の人間として大切にされているという実感を持つことができるときに、自己や他者を尊重しようとする感覚や意志が芽生え、育つことが容易になる。自分と他の大切さが認められるような環境をつくるのが、まず学校・学級の中で取り組まなければならない。また、『自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること』ができるということが、態度や行動に現れるようにすることが必要である。【熊本県教育委員会 人権教育推進資料より抜粋】

上記のことを受けて、本校としましては次のような目標を掲げ、人権教育に取り組んでいます。

【本校の人権教育の目標】

すべての教育活動を通して感性を豊かにし、自分の人権を守り、他者の人権を守ろうとする意欲・意識・態度を養う。

～くらしを高め、差別と闘ってこられた人との出会いを大切に～

【本年度の重点目標】

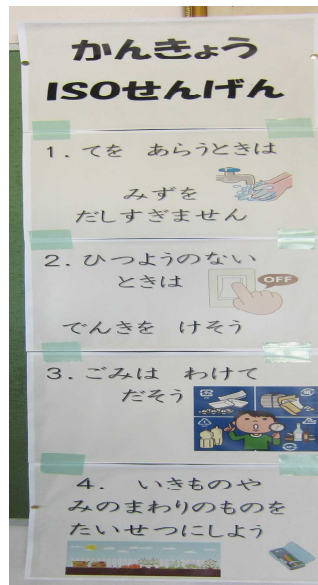
- ・自分で「気づき、考え、行動する」力をつけていく。
- ・学級の被差別状況にある子どもたちを中心に据え、くらしを見つめ、綴り、伝え合う中で本当のつながりをつくっていく。
- ・言語環境をはじめ、人権が尊重される環境づくりに努める。

例年でしたら、各学級で人権学習に取り組み、そのことを学校全体で共有し、さらに学びを確かなものにするために、南っこ集会を行っていましたが、本年度はコロナの対応で、集会をしばらく開かないようにしておりますので、各学級で取り組んだことは掲示するようにしています。そのことにより、人権尊重の視点に立った学校づくり (①人権が尊重される学習活動づくり ②人権が尊重される人間関係づくり ③人権が尊重される環境づくり) につなげていきたいと思ひます。



【環境委員会発表】

海に捨てられるペットボトルの数千枚や、環境ISO宣言 (右写真) についてオンラインで発表しました。各家庭でも実践をされてみてください。子どもたちの意識も高まると思ひます。



『9時以降は、ゲーム・ユウチューブ等にはさわらないようにしましょう!』

先週の学校だよりにも載せましたが、コロナ対応のための臨時休校により、子どもたちの生活習慣の乱れが続いているようです。職員と話し合い、上記の文言を「みなみっこのくらし」に追加することにしました。本日新しい「みなみっこのくらし」を配布しました。学校と家庭で子どもたちの生活と健康を守っていきましょう。



